



日付	令和8年10月13日（火）
担当課	文化振興課
電話番号	0742-34-4942

「東アジア文化都市 2016 奈良市」10 周年記念企画
アートで 1300 年の奈良の時間を移動する体験を提供。

ことほぐなら
「古都祝奈良の時空旅行」を開催します



奈良市では 2026 年 11 月 7 日（土）～29 日（日）に、“時間が重なり合う都市「奈良」”を舞台に、市民とアーティスト、来場者がともに、過去・現在・未来を巡り体験する都市型アートプロジェクト「古都祝奈良の時空旅行 アートを巡り 時代と出会う」を市内各会場で開催します。

<トピックス>

- 「東アジア文化都市」事業は、2016 年に文化庁と共催で実施した日中韓の文化芸術交流事業。東アジア地域における多様性と包摂性の意義を考える事業として、奈良市では当時「時空を超えたアートの祭典」をコア事業に据え、大型の美術・演劇プログラム等を実施。その翌年からも毎年、後継事業「奈良市アートプロジェクト 古都祝奈良」を展開し、国内外のアーティストと市民が共に創造し、体験し、学ぶ場としての活動の場を創出してきた。
- 事業の 10 周年記念として 11 月に「古都祝奈良の時空旅行」を展開する。東アジア文化都市事業にちなみ、日中韓の作家の招聘展示を実施。韓国を起点に世界で活躍するキムスージャ氏（10 年前の展示にも参加）、水戸を拠点にアートの社会性、人とのつながり等の過程をテーマとする中崎透氏、京都を拠点にグローバルな切り口で活動を行う新進気鋭の写真作家・顧剣亨氏が参加する。また、3 作家と東アジア文化都市 3 都市による東アジア国際シンポジウムを 11 月 15 日に開催。
- 回遊の仕掛けとして、奈良市公式アプリ「Shika no Ashiato」を使ったデジタルスタンプラリーを予定。押印した数により「古都祝奈良の時空旅行」オリジナルグッズの配布あり。

事業概要「古都祝奈良の時空旅行」

奈良は、古代・中世・近世・近代・現代、そして未来へと連なる時間層が、同時に実在する稀有な都市です。本事業では、それぞれの時代性を色濃く残す実在の空間を舞台に、市民の創作活動やアートプロジェクトを展開し、歴史と現代、そして未来を結びます。来場者は、複数の各時代を象徴する会場を巡りながら、展示や演劇、市民の創作活動などとの出会いを通して、奈良の時間を“移動”する体験を得られます。

市民にとっては、豊富な文化遺産と現代の生活を自らの手で結び直す経験を通じて、現代社会を生きる自信と未来への展望を育む機会となります。観光客を含む多くの来場者に対しては、過去の文化・歴史に触れるだけでなく、現代の美術や演劇、市民との交流を同時に楽しむことができる、新しい文化的体験を提供します。



【会期】2026年11月7日（土）～29日（日）※コア期間 21日（土）～23日（月・祝）

【会場】東大寺観音院、椿井市場、北山十八間戸、近鉄奈良駅前行基広場ほか

【主催】奈良市アートプロジェクト実行委員会

<プログラム内容>

- 招聘アーティストによる展示
- 東アジア国際シンポジウム
- まちなか舞台～奈良パフォーマンスラボ～／青少年と創る演劇 Lite
- 古都祝奈良の学校
- グリーン・マウンテン・カレッジ

